

2013年7月1日

全国大学国語教育学会

2013年度 学会通信 第1号

全国大学国語教育学会事務局

◆第125回 広島大会のご案内（第1次）

広島大会実行委員長・吉田裕久（広島大学）

■第125回大会の開催日程、場所等は以下の通りです。

開催日 2013年10月26日（土）、27日（日）

場所 広島大学教育学部・教育学研究科（広島県東広島市鏡山1-1-1）

懇親会 西条 HAKUWA ホテル（〒739-0047 広島県東広島市西条下見6丁目5-45）

◆編集委員会・常任理事会

10月25日（金）

ホテルグランヴィア広島（〒732-0822 広島県広島市南区松原町1-5）

■大会2日間の概要（予定）

○自由研究発表（大会1日目午前／大会2日目午後）

○シンポジウム（大会1日目午後）

国語教育学研究の方法ーいまとこれからー

（コーディネーター：吉田裕久）

○課題研究

国語科カリキュラムの再検討（1）ー読み・書きの将来と国語科教育の課題ー

（コーディネーター：山元隆春）

○公開講座 国語科の授業づくりと評価を考える

■大会プログラム・大会要項発送

JTB 広島支店より9月第1週までに送付される予定です。

◆第125回 広島大会自由研究発表者・ラウンドテーブルコーディネーターの募集について

広島大会実行委員長・吉田裕久（広島大学）

1. 募集区分

自由研究発表・ラウンドテーブル

2. 発表等の申し込み手順

(1) 往復はがき(往信面)に次の事項をご記入のうえ、申し込んでください。

1) 自由研究発表の場合

①発表区分 自由研究発表

②発表題目(申し込み後の変更は不可)

③氏名(ふりがなを必ずつける)

④所属等(所属、職名、電話番号、メールアドレス)

⑤住所、電話番号、緊急時連絡先(携帯電話)

⑥プロジェクタ使用希望(プロジェクタ使用希望者は、必ずご記入ください。パソコンは発表者持ち込みです。プロジェクタは会場備えつけのものを使用できますが、パソコンとの関係で、発表者が持ち込むことも可とします。ただし、その場合、機械設置・接続の準備時間も発表時間に含みます。)

*返信はがきには、ご自分の郵便番号、住所、氏名を必ず記入してください。

2) ラウンドテーブルの場合

①発表区分 ラウンドテーブル

②題目(申し込み後の変更は不可)

③コーディネーター氏名(ふりがなを必ずつける)

④所属等(所属、職名、電話番号、メールアドレス)

⑤住所、電話番号、緊急時連絡先(携帯電話)

⑥登壇予定者(所属・氏名)

*返信はがきには、ご自分の郵便番号、住所、氏名を必ず記入してください。

(2) 申し込み先(広島大会事務局)

〒739-8524 広島県東広島市鏡山 1-1-1

広島大学・教育学研究科 山元隆春 宛

(3) 発表申し込み締め切り

8月20日(金) 必着

*発表日のご指定はご遠慮ください。

*会場の許容数に達した場合は先着順で締め切らせていただく場合もあります。

(4) 発表要旨集の原稿締め切り

9月20日(金) 必着 送付先は上記(2)と同じ。

*締め切り後のものについては、題目・所属・氏名のみの掲載となります。

*要旨のテンプレートは、学会ホームページ(<http://www.gakkai.ac./JTSJ/>)の「テンプレート集」にあります。要旨は4ページ以内でお願いします。

(5) 大会全般についての問い合わせ先

広島大学・教育学研究科 山元隆春 Eメール: tyamamo@hiroshima-u.ac.jp

◆『国語科教育』第75集 投稿募集について

第75集編集委員会

1. 投稿論文は、2013年8月1日（木）から8月31日（土）（消印有効）までの期間に受け付けます。
2. 原稿の送付先は下記の通りです。

**169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-19
全国大学国語教育学会事務局宛**

3. 封書にはかならず「投稿原稿在中」と朱書き書留で郵送してください。
4. 以下の『国語科教育』投稿要領に従ってください。
(投稿要領にご注意ください)

『国語科教育』投稿要領

- 1 論文原稿は未発表のものに限る。ただし、口頭発表、プリントの場合はこの限りではない。なお、他誌に投稿する論文と著しく重複する内容の論文を、投稿してはならない。
- 2 募集枠は、以下に示す「研究論文」「実践論文」「資料」の三つのカテゴリーとする。どの枠に応募したものであるかがわかるように、そのことを題名の前に明記する。ただし採択の枠付けは、編集委員会の最終的な判断によるものとする。

研究論文：独創的な知見を含む学術研究

実践論文：国語科の先行実践をふまえて、新たな実践の方向性や意義・価値について学術的な根拠に基づいて論じたもの。

資 料：国語教育学に関する基礎的データや国語教育の実践・研究に関する情報を提示したもの

- 3 連続掲載は、原則として2回までとする。
- 4 論文原稿は、縦書きまたは横書きで原則としてパソコンを使用する。
- 5 編集委員会において特に枚数を指定するもの以外の論文原稿は、原則として400字詰原稿用紙ほぼ40枚（8ページ分）以内とし、1ページあたりの字数・行数を次のようにする。

(1) 横書きの場合

23字×44行×2段（1ページ2,024字、ただし最初の1ページは、題目・氏名のスペースとして7行2段をとる。）

(2) 縦書きの場合

33字×31行×2段（1ページ2,046字、ただし最初の1ページは、題

目氏名のスペースとして7行2段をとる。)

- * 学会ホームページに記載している、投稿原稿用のテンプレートを使用すること。
 - * 引用および注の文字ポイントは本文と同じとする。ただし、図表についてはこの限りではない。
 - * 図表は本文の中に含めて計算し、本文内に該当箇所を明示することとし、縮小率は8割以上とする。
- 6 原稿は以下の体裁で整えること。
- (1) 論文本体
 - * 論文には氏名・所属等、書き手を特定できる情報は書かないこと。
 - (2) 注(ただし、引用のための注はつけない)
 - (3) 参考文献
 - * 論文本体や注、参考文献に「拙稿」「拙著」など、投稿者名が判明するような記述を行わないこと。
- 7 投稿に際しては以下のものを同封する。
- (1) 電子媒体(OS名と作成ソフト名を記載すること)
 - (2) 打ち出し原稿4部(複写でよい)
 - (3) 投稿者情報(A4一枚に、氏名、所属、原稿発送年月日、連絡先(電話番号、Eメールアドレス、住所)、論文の表題、希望する募集枠のカテゴリーを記載したもの)
- なお、提出物は原則として返却しない。
- 8 郵送に際しては書留で送付すること。また封書には氏名、所属、連絡先を記載し、表には「投稿原稿在中」と朱書すること。
- 9 投稿論文は、上期においては8月1日から8月31日までの期間、下期においては3月1日から3月31日までの期間に受け付けるものとする。

◆学会発表および学会誌投稿の資格について

全国大学国語教育学会事務局

年2回の学会および学会誌刊行は学会活動として行われていますので、自由研究発表・ラウンドテーブルへのお申し込み、および、学会誌への投稿は会員資格を必要とします。新しく入会を希望される方は、入会までに一定の期間を要するため(常任理事会での承認・当該年度の会費納入)、発表申し込みおよび投稿の時期にお気をつけください。また、現会員の皆様におかれましては、会費滞納による会員資格停止の規定がございます点、どうぞご留意ください。

2013年5月18日(土) 教育学部2階・大教室 14:10~15:00

進行 小川雅子常任理事

総会に先立ち、弘前大会開催状況について、大会実行委員長児玉忠氏(弘前大学)から、参加者数について、事前申し込み249名、当日申し込み98名の約350名であることが報告された。

塚田理事長挨拶に続き、総会議長として藤森裕治氏が選出された。

I. 議事

1. 2012年度事業報告

- (1) 甲斐事務局長より事業が報告され承認された。
- (2) 2日目の自由研究発表、公開講座、ラウンドテーブルの重なる見直しについて意見が出された。理事長より、弘前大会、広島大会の実績をふまえて検討を行う旨が回答された。

2. 2012年度会計報告・監査報告

- (1) 事務局長より予算と決算が報告され承認された。
- (2) 松崎監査より監査の結果問題ないことが報告され承認された。

3. 2013年度事業計画

事務局長より報告され承認された。

4. 2013年度予算審議

事務局長より報告され承認された。

5. 今後の学会予定開催について

理事長より次の提案がなされ全て承認された。

2013年度秋季大会は広島、2014年度春季大会は愛知、秋季大会は滋賀、

2015年度春季大会は兵庫。

II. 報告

1. 編集委員会

- (1) 松山編集委員長より『国語科教育』第74集編集状況について次の通り報告がなされた。投稿論文33編中、採択1編、修正採択4編、修正再審査5編。

- (2) 事務局長より、投稿要領の募集枠について次のように報告がなされた。

研究論文：独創的な知見を含む学術研究

実践論文：国語科の先行実践をふまえて、新たな実践の方向性や意義・価値について学術的な根拠に基づいて論じたもの

資料：国語教育学に関する基礎的データや国語教育の実践・研究に関する情報を提示したもの

2. 研究部門委員会

山元委員長より以下の8名の新委員が紹介された。浅田孝紀氏、上田祐二氏、河野順子氏、寺井正憲氏、松崎正治氏、松山雅子氏、藤原顕氏、山元隆春氏。

3. 広報部門委員会

鶴田委員長より研究部門に転じた山元隆春氏に代わり寺田守氏を委員とすることが報告された。

4. 「成果と展望 II」編集委員会

望月委員長より刊行時期が6月末で1000部の印刷、価格は5000円となることが報告された。

5. その他

松崎監査より女性研究者の育成や登用についての意見が出された。塚田理事長より、検討する旨が回答された。

◆学会事務局からのお知らせ

全国大学国語教育学会事務局（筑波）

(1)『国語科教育学研究の成果と展望 II(2010年版)』の会員価格での販売について

同書の本体価格は5000円(税込5250円)ですが、会員に限り3500円(税込3675円、送料無料)で受け付けます。

ご希望の方は以下の情報を添えて学芸図書(下記)までご連絡ください。

(1)お名前、(2)ご住所、(3)電話番号・メールアドレス、(4)ご希望冊数
メールでも受け付けるとのことです。

〒101-0064 東京都千代田区猿樂町1-3-1

学芸図書株式会社 TEL 03-3291-3023 FAX 03-3219-6112

担当 神戸 (Email: kanbe@lion.ocn.ne.jp)

よろしくお願いいたします。

(2)「女性研究者支援委員会」(仮称)について

弘前大会の総会において、松崎監査より監査意見として本学会の活性化に向けて女性研究者の積極的な育成、学会運営への関与を可能にする仕組みを考えるべきであるとの提言がなされ、承認されました。このため本学会としては「女性研究者支援委員会」の設置に向けて、下記の要領で広く会員からの要望を受け付けます。

受付期間 7月1日～8月31日

宛 先 kokugokakyouiku@gmail.com

件 名 女性研究者支援委員会について

*所属、お名前とともにお寄せくださるよう、お願いいたします。

(3) 今後の日程の概略について

- 8月下旬 広島大会自由研究発表締め切り
- 8月末 『国語科教育』第75集投稿原稿締め切り
- 9月末 『国語科教育』第74集発行
- 10月26日・27日 第125回広島大会
- 11～12月 役員改選
- 1月末 「学会通信」第2号発行
- 3月末 『国語科教育』第76集投稿原稿締め切り
『国語科教育』第75集発行

◆新入会員のお知らせ（受付順、敬称略）

（ネット版のみ省略）

◆事務局のご案内

2012 年 9 月より、学会事務局は下記になっております。

全国大学国語教育学会事務局

〒162-0801

東京都新宿区山吹町 358-5

電話：03-5389-3012

Fax：03-3368-2822

E-mail：jtsj-post@bunken.co.jp

学会の郵便振替口座も、2012 年 9 月から下記の通りになっております。それ以前の払込用紙は使えませんのでご注意ください。

口座番号：00110-6-790009

加入者名：全国大学国語教育学会